

令和3年度 産業医研修会について

令和3年度 産業医研修会を別紙のとおり開催致します。受講を希望される場合は、別紙開催日程をご確認の上、本会あてお申し込み下さい。

沖縄県医師会 業務1課行 FAX(098-888-0089)

研修会参加申込票

参加希望の研修アルファベットに○印を付けてください。

申込み研修	A	B	C	D	E	F
	4/21 終了	5/13 終了	6/10 終了	7/15 受付終了	8/12	9/16
参加申込者氏名						
施設名						
TEL						
FAX						
Mailアドレス						
認定区分	認定医 ・ 未認定医					
有効期限 ※認定医の場合	年 月 日					

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡をお願い致します。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため人数制限がございます。受講できない場合もありますのでご了承ください。

沖縄県医師会 業務1課
(TEL.098-888-0087 FAX.098-888-0089)

令和3年度沖縄県医師会産業医研修会

No	日時	場所	基礎研修	生涯研修	カリキュラム (付与単位数)	講師名	研修テーマ	備考
A	(終了) 4月21日(水) 18:30-22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1) 前期 (2) 前期	/	(1) 作業管理 (2 単位) (2) 健康保持増進 (2 単位)	(1) 清水隆裕 (2) 崎間 敦	(1) 作業管理の考え方とそ の実例 (2) With CORONA 時代 における健康管理	未認定医対象
B	(終了) 5月13日(木) 18:30-22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1) 前期 (2) 前期	/	(1) 有害業務管理 (2 単位) (2) 産業医活動の 実際 (2 単位)	(1) 椎木創一 (2) 山本和儀	(1) 医療・介護職場におけ る感染リスク対策 (2) 職場内における産業医 活動の実際	未認定医対象
C	(終了) 6月10日(木) 18:30-22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1) 後期 (2) 後期	(1) 専門 (2) 専門	(1) 有害業務管理 (2 単位) (2) 労働衛生管理 体制 (総括管理) (2 単位)	(1) 青木一雄 (2) 平山良克	(1) 有害業務管理による健 康障害防止～労働衛生の原 点から化学物質のリスクア セスメントに向けて (2) ～混在作業における労 働災害を防止するために～	
D	(受付終了) 7月15日(木) 18:30-21:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1) 実地	(1) 実地	(1) 健康保持増進 (3 単位)	(1) 伊是名カエリ	(1) 健康経営を意識した栄 養指導の取り組み～働き盛 り世代の現状と課題～	
E	8月12日(木) 18:30-22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1) 後期 (2) 後期	(1) 専門 (2) 更新	(1) 労働衛生教育 (2 単位) (2) その他 (2 単位)	(1) 伊志嶺隆 (2) 前里久誌	(1) 産業保健における労働 衛生教育 (2) 職場の健康診断と安全 衛生管理体制	
F	9月16日(木) 18:30-21:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1) 実地	(1) 実地	(1) 健康管理 (3 単位)	(1) 砂川博司	(1) 職場内における健康指導 ～健康診断結果を具体例に～	

※単位制の研修につき、時間厳守をお願いします。遅刻や途中退室は単位認定ができませんのでご注意ください。

※研修テーマ等は変更になる場合があります。

※11月の産業医研修会については、7月下旬頃に送付致します「第121回九州医師会医学会案内誌」に詳細を掲載いたしますので、そちらをご覧ください。



講演会・例会のご案内

(7月10日～7月31日)

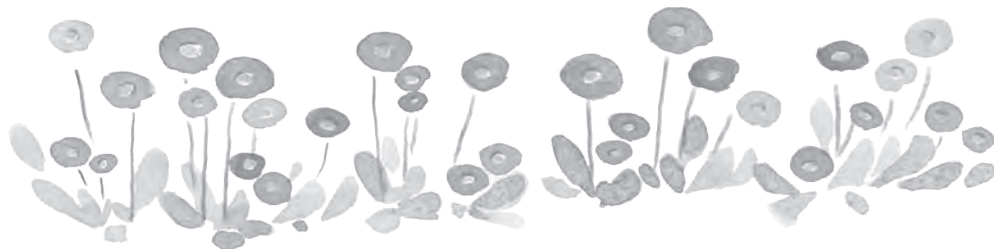
カリキュラムコード(略称：CC)

医師のプロフェッショナルリズム	1	全身倦怠感	18	けいれん発作	35	胸やけ	52	不安	69
医療倫理：臨床倫理	2	身体機能の低下	19	視力障害、視野狭窄	36	腹痛	53	気分の障害(うつ)	70
医療倫理：研究倫理と生命倫理	3	不眠	20	目の充血	37	便通異常(下痢、便秘)	54	流・早産および満期産	71
医師－患者関係とコミュニケーション	4	食欲不振	21	聴覚障害	38	肛門・会陰部痛	55	成長・発達の障害	72
心理社会的アプローチ	5	体重減少・るい瘦	22	鼻漏・鼻閉	39	熱傷	56	慢性疾患・複合疾患の管理	73
医療制度と法律	6	体重増加・肥満	23	鼻出血	40	外傷	57	高血圧症	74
医療の質と安全	7	浮腫	24	嚔声	41	褥瘡	58	脂質異常症	75
感染対策	8	リンパ節腫脹	25	胸痛	42	背部痛	59	糖尿病	76
医療情報	9	発疹	26	動悸	43	腰痛	60	骨粗鬆症	77
チーム医療	10	黄疸	27	心肺停止	44	関節痛	61	脳血管障害後遺症	78
予防と保健	11	発熱	28	呼吸困難	45	歩行障害	62	気管支喘息	79
地域医療	12	認知能の障害	29	咳・痰	46	四肢のしびれ	63	在宅医療	80
医療と介護および福祉の連携	13	頭痛	30	誤嚥	47	肉眼的血尿	64	終末期のケア	81
災害医療	14	めまい	31	誤飲	48	排尿障害(尿失禁・排尿困難)	65	生活習慣	82
臨床問題解決のプロセス	15	意識障害	32	嚔下困難	49	乏尿・尿閉	66	相補・代替医療(漢方医療を含む)	83
ショック	16	失神	33	吐血・下血	50	多尿	67	その他	0
急性中毒	17	言語障害	34	嘔気・嘔吐	51	精神科領域の救急	68		

開催日	場所	名称	講師	CC	問合せ先 参加費
07/15 (木) 19:00	Zoomを使用し のオンライン開催	令和3年度那覇市在宅医療・ 介護連携推進事業 第2回在 宅医療・介護スクラム塾(多 職種連携研修会) オンライン 開催 (日医生涯教育講座) 『がん緩和ケア』	吉澤 龍太氏(名桜大学 助教 緩和 ケア認定看護師)	10) 0.5単位、 80) 0.5単位、 81) 0.5単位	那覇市医師会 那覇市在宅医療・介護連 携支援センター ちゅい しーじー那覇 098-860-5666 参加費なし
07/17 (木) 15:00	ロワジールホテル 那覇	沖縄県リウマチケア講演会 ①リウマチ関連疾患治療における 看護師の介入 ②高齢RAの考慮すべき診断ポイ ント ③薬剤師が考える抗リウマチ薬の セーフティマネージメント ④リウマチ性疾患診療のポイント	①前泊 美輝(沖縄県立中部病院看 護師) ②土井 基嗣(琉球大学病院内分泌 代謝・血液・膠原病内科(第2内科) 助教) ③大城 匡史(友愛医療センター薬剤 師) ④小緑 雅人(新健幸クリニック副院 長)		田辺三菱製薬株式会社 高麗 和紀 098-869-5515 参加費なし

※最新の情報はホームページで逐次更新していますので、ご確認ください。

※お願い：9月10日～11月9日迄の講演会例会等が決まれば、7月25日迄に業務1課(098-888-0087)へご一報下さい。



医師の働き方改革応援特報版

(特報版 2021.03)

沖縄県医療勤務環境改善支援センター

(略称：勤改センター)

事業実施者：沖縄県社会保険労務士会

委託者：沖縄県保健医療部医療政策課、沖縄労働局雇用環境均等室

事業の期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

▼医療勤務環境改善支援センターとは？

- ・当センターは、改正医療法（H26年）により設置されており、一昨年度までは沖縄県医師会様が受託、運営していました。昨年度8月1日以降は沖縄県社会保険労務士会が運営を行っています。また県主催の運営協議会において広く意見を聞きながら運営されます。（運営協議会を構成する諸団体）※敬称略、順不同、令和元年度実績による
沖縄県医師会/沖縄県看護協会/沖縄県/沖縄労働局/医療経営コンサルタント協会沖縄県支部/沖縄県社会保険労務士会

▼この事業では医師の働き方改革への取組みを応援します！

- ・当センターでは、医療機関からの労務管理に関するご相談に対して、電話、メール、訪問などの方法で応じています。特に「医師の働き方改革支援」「BC水準指定の取組み支援」に力を注いでいます。当センターは皆さまと一緒に課題解決に取り組みます。
- ・医療勤務環境改善マネジメントシステム導入の支援・医療機関における勤務環境の自主的な改善を促すPDCAサイクルの導入と定着を支援します
- ・BC水準の認定に向けた相談・支援・例：医師の労働時間短縮計画の策定に関すること
- ・医師の労働時間短縮に向けた取組みの相談・支援・例：厚労省が行う医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組に関すること
- ・院内での労務管理に関する勉強会・研修会・WS（ワークショップ）などへの講師派遣

※ご相談時の病院名、相談者名、内容は労働局・労働基準監督署に報告しません。

▼私たちにお声掛けください！▼

相談受付：沖縄県医療勤務環境改善支援センター事務局

電話 098-988-1430（案件をお聞きして担当から連絡します）

（住所）那覇市泊2丁目T&Gビル601B

直通：事業担当 社会保険労務士 加藤 浩司

（携帯）090-6426-0854

（取れない場合は留守番電話に要件、連絡先をお入れください。担当加藤より折返し連絡します）

（メール）Koji-koji@mug.biglobe.ne.jp

沖縄県医療勤務環境改善支援センターの設置と概要

- ・ 設置日：2020年8月1日設置（令和1年度まで沖縄県医師会様が受託）
- ・ 場 所：那覇市泊2丁目T&Gビル601-B
- ・ 電 話：098-988-1430（平日9時～5時まで開所）
- ・ メール：contact.med@okinawa-med-kinmukaizen.jp
- ・ URL：www.okinawa-med-kinmukaizen.jp

- ・ 相談は、訪問または近隣の沖縄県社労士会会議室などを利用できます。
- ・ アドバイザー14名が登録（内6名が交替でセンターで執務）
（※14名は社会保険労務士、その他経営面の相談に対しては
医療経営コンサルタント協会に対応を依頼します）



勤改センターでの相談のポイント

- ポイント①：医療機関との信頼関係構築を第1に。
- ポイント②：医療機関の自主的な改善が前提です。
- ポイント③：すべての医療従事者が事業対象です。



沖縄県医療勤務環境改善支援センターの活動のご紹介（R2年度の実績）

<相談件数> 前年度85件/年間

月	相談受付	訪問相談	院内研修	個別支援
8月	5	3		
9月	2	2	1	1
10月	4	2		3
11月	4	2		1
12月	9	6	1	2
1月	5	2		3
2月	4	2	1	4
3月	2	1		4
小計	35	20	3	18

※相談受付件数は、訪問相談件数を含んだ数です。

- これまで、沖縄県勤改センターでは、、、
- ・ 病院長懇談会など関係者との丁寧な連携実施
 - ・ 局監督課長、監督官などによる情報提供をコーディネート
 - ・ 労務管理者向けセミナー、全医療機関向け広報などに注力

<相談内訳>

労働時間(把握、宿日直、残業など)	8	23%
医師の働き方改革について	6	17%
ハラスメントについて	5	14%
休業(新型コロナ、休業手当含む)	3	9%
労働条件・労働契約	3	9%
人材育成・定着(人事考課含む)	3	9%
育児・介護休業の関係	1	3%
同一労働同一賃金	1	3%
タスクシフト	1	3%
安全衛生管理体制	1	3%
異動	1	3%
懲戒	1	3%
休職	1	3%
小計	35	100%

沖縄県医療勤務環境改善支援センターの活動について（R3年度のメニュー）

(1) 相談活動（窓口相談・訪問相談）

重点はBC水準指定事務の支援の取組み

(2) 個別支援

- ①医療勤務環境改善マネジメントシステムの普及促進（PDCAサイクル）
- ②BC水準の指定に関する意向確認活動
- ③BC水準（時短計画策定・36協定締結など）に関する個別相談活動
- ④BC水準の指定に関するモデル事業
- ⑤働き方税制（特別控除制度）の説明・援助活動

・漏れなくまわり丁寧な説明
・県内の参考事例を拾上げる
(時短計画、36協定様式、時短の取組、時間把握方法)

(3) 情報提供・関連団体との連携

- ①訪問・リーフレット・HP・関連団体への働き掛けなど
- ②労務管理改善に関するニュースの作成
- ③労務管理改善セミナー（労務管理担当者向け）
- ④BC水準指定に関するセミナー
- ⑤連携（県医師会、県看護協会、医業経営コンサルタント協会、県、労働局）

県・労働局・勤改センターから情報提供

- ポイント①：どの医療機関がBCの申請をするのか
ポイント②：36協定＝だれが、どれだけ残業するのか・・・「時間把握」が課題！
ポイント③：時短計画＝どうやって残業を減らすのか

重点活動（BC水準指定に関する援助）の具体化（構想）と問題意識とは？

(1) 訪問活動

- ①申請が予測される個別医療機関に意向と取組み状況を確認・利用勧奨
- ②継続的な援助を求められた場合に、月1回など定期的に訪問し援助
- ③モデル事業（継続的な支援とともに、取組の公開共有を目指す）
- ④スポット対応（求められた時に対応します）

WLB・産休育休・年休

契約形態(雇用, 出向, 委託, 年休)

(2) 企画1：公的病院へのアプローチ

- ①管理層の協議体などで状況確認とセンター利用勧奨
- ②個別医療機関に対し、モデル事業での対応を打診（救急、離島、研修医の3パターンなど）
- ③継続的な援助と事例の蓄積、適時広報（出来るだけ県内での取りこぼしなく対応へ）

時間把握(宿日直・自己研鑽・兼業)

(3) 企画2：関係行政機関から具体的で正確な情報（遅くとも8月までに1回はどうか？）

※県から時短計画申請手続き、労働局から36協定注意事項、何がどこまで決まっているのか又いないのか

(4) 企画3：各医療機関の担当者の先生方の懇談会・情報共有・意見交換

※勤改センターから問題意識の提示も行いつつ、各病院の問題意識も交流、関連団体へフィードバックも
※いつまで何をやるのが正解か不明で不安な状況（決して皆さまの取組は遅れていません）

(5) 企画4：事務長など事務担当の懇談会・情報共有・意見交換

※より実務的な問題での課題の抽出と解決策の模索（事務方のサポート力の向上を目指す）

沖縄県ドクターバンクからのお知らせ

常勤・非常勤での勤務先を探している、ベテランの技を活かしスポット勤務で働きたいとお考えの先生方、または産業医として勤務できる事業所をお探しの皆様！沖縄県ドクターバンクに登録してみませんか？当バンクでは多くの求人情報の中から、皆様のご希望に合う医療機関をご紹介します。

☆下記の登録票に必要事項をご記入の上、沖縄県医師会事務局 業務1課まで、FAXにてお申し込みください。

FAX 番号:098-888-0089

沖縄県ドクターバンク登録票 (医師用)

*項目は必須

受付登録日： 年 月 日 受付番号：

ふりがな *氏名	-----		*生年月日	(西暦) 年 月 日生	
*住所	〒 -				
*連絡先	電話(自宅または携帯)：				
	E-mail：				
*医籍登録日	年 月 日登録	保険医登録番号	医 号		
*医籍番号	第 号	*専門診療科			
資格	専門医資格	その他の資格			
*現在の状況	①就業中 ②休職中(産休・育休・病休) ③離職中 ④その他：				
現在の勤務先					
希望条件	就業形態	①常勤 ②非常勤(頻度 回/月程度) ③その他：			
	希望診療科				
	施設種別	①病院 ②診療所 ③その他：			
	希望地域	第1希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
		第2希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
	勤務希望時期	①今すぐ ②令和 年 月頃から ③未定			
	勤務時間	勤務可能な曜日	月・火・水・木・金・土・日		
		勤務可能な時間帯	時 分 ~ 時 分		
	当直勤務	①できる ②できない			
	希望業務内容	①病棟 ②外来 ③健診 ④パート ⑤臨時 ⑥産業医			
	給与	常勤務の場合	月給：	以上	
		非常勤の場合	日給：	以上	月給： 以上
		臨時の場合	時給：	以上	
保育所	①必要 ②必要なし				
再就業のための再研修	①必要 ②必要なし				
その他希望					

*氏名、住所等の個人が特定される情報につきましては、個人情報保護関連法令に則り開示・公表また無断流用は一切いたしません。

《提出・問合せ先》
〒901-1105 南風原町字新川218-9
沖縄県医師会事務局
業務1課 ドクターバンク担当
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089

医師年金

<認可特定保険業者>公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員 (会員区分は問いません)

☑ 年金検討チェックリスト

- 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- 一生涯受け取れる年金が望ましい
- 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら...

医師年金ご加入をおすすめします!

医師年金ホームページで、
簡単シミュレーション!

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。
ぜひお試しください。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら

JMA 公益社団法人
日本医師会 年金・税制課

TEL : 03-3946-2121(代表) / 03-3942-6487(直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間 : 午前9時30分~午後5時(平日)

E-mail : nenkin@po.med.or.jp

保険料からプラン作成

保険料	医師年金
●基本：月払 加入：月払	●81コース
日給保険料 60,000円	加入年率 年給額15万 60,100円
加入年率 (10.2%)	日給額15万 17,200円
●基本年率 月給保険料 12,000円	●82コース
●加入年率 18%	加入年率 年給額15万 60,100円
●加入年率 18%	日給額15万 17,200円
●加入年率 18%	●83コース
●加入年率 18%	加入年率 年給額15万 60,100円
●加入年率 18%	日給額15万 17,200円
●加入年率 18%	●84コース
●加入年率 18%	加入年率 年給額15万 60,100円
●加入年率 18%	日給額15万 17,200円

合計保険料 72,000円

設定条件をご確認ください。

試算日	平成 27年 9月 7日
生年月日	昭和 50年 1月 1日
試算自年終	40歳
加入申込期間	平成 27年 6月 15日
加入申込年終	平成 27年 7月
加入時年齢	40歳 6ヵ月
加入申込開始日	平成 27年 7月
年金受取開始年終	平成 52年 1月
年金受取開始年齢	65歳
個人保険料合計	25,166,000円

注意事項です。お読みください。

- ・加入申込期間は、18日が土日・祝祭日の場合は、その前日となります。
- ・「毎月年金」は、加入者本人であれば一生受給継続することが可能です。
- ・「役員特別15年」では、役員者本人が65歳途中中に引継ぎとなり、15年満期の期間について、ご遺族の方が必ず受け取る必要があります。
- ・「医師年金」の保険料は、加入者本人が65歳以降に引継ぎとなります。
- ・退職時年齢は、75歳まで延長できます。
- ・「受取年金月額」は、加入者本人が65歳以降に引継ぎとなり、65歳以降に引継ぎ決定が引継ぎの時は、変更になる場合があります。

日本医師会が運営する医師のための私的年金

日本医師会 **医師年金**

[トップページへ](#) [サイトマップへ](#)
[個人情報保護方針](#) [重要事項のお知らせ](#)

[医師年金の特長](#)
[医師年金のしくみ](#)
[医師年金シミュレーション](#)
[よくあるご質問](#)
[手続きガイド](#)
[お問い合わせ・資料請求](#)

ホーム → 医師年金シミュレーション

医師年金シミュレーション

[保険料からシミュレーション](#)
[受給年金からシミュレーション](#)

日医ホームページからの場合

1 保険料からシミュレーション
 ご希望の保険料を入力すると、受給する年金額の概算が試算できます。

2 受給年金からシミュレーション
 ご希望する年金額を入力すると、保険料の概算が試算できます。


3 マイページ登録
 お名前、生年月日、メールアドレスで簡単に登録できます。
[※仮申し込み登録までの流れはこちら](#)

4 マイページへログイン
 シミュレーションの結果を最大5件まで保存できます。
 年金の受取開始年齢の延長や、加算保険料増額の際の試算等、詳細なシミュレーションが可能です。

日本医師会 **医師年金** **スマホ・パソコンで簡単手続き**

加入資格は日本医師会会員で64歳6カ月未満の方です
 (申込みは、満64歳3カ月までをお願いします)

アニメーションで仕組みを確認 

シミュレーションで保険料を試算  

一括払専用加入申込書プリントアウトで申込み
 (保険料のお支払いは後日ご案内します)
 ※重要事項説明書をよくお読み下さい(申込書の3、4ページに記載)

医師年金HP画面

お問い合わせ先
 日医年金・税制課 ☎ 03-3942-6487(直) (平日9時半～17時)

生涯教育／プライマリ・ケア

- 字数制限
生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。
プライマリ・ケア 2,500 字以内
(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)
- 内容
生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文
プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。
- 原稿の書き方
 - ①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。
 - ②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。
 - ③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。
 - ④図表にはタイトルをつけてください。
 - ⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真は明瞭なものでご提出下さい。
 - ⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。
個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得るようご配慮下さい。
- 文献
引用文献は最小限度（原則として 10 以内）とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) …の番号を付して下さい。引用の図表は出典を明記して下さい。
著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。
引用文献の記載項目並びに順序
- 雑誌の場合
著者名：論文題名. 雑誌名 発行年；巻：ページ。
Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.
- 単行本の場合
著者名：書名. (版数), 発行所, 発行所の所在地, 発行年；引用ページ。
Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Willkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215) .
- シリーズなど
執筆者名：執筆部分題名. 編者名, シリーズ名, 巻数, 発行所, 発行地, 発行年；引用ページ。
Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.
- ウェブサイトの場合
執筆者名 (編者名)：サイト名. URL (最終閲覧日)
運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き. http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html (2016 年 8 月 16 日閲覧)

月間（週間）行事お知らせ

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：医療関係の行事等について

発言席

- 字数制限：2,500 字以内
- 内 容：会員の先生方のご意見や主張等

勤務医 / 臨床研修医

- 字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内
- 内 容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

地区医師会

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各地区医師会の活動状況
(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

若 手

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業顛末記等）

随筆 / 新春干支随筆 / 緑陰随筆

- 字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支随筆・緑陰随筆 1,500 字以内
- 内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

本の紹介

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

いきいきグループ紹介

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

身近な闘病記

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

追悼文

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

広 告

- 沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

投稿の方法

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4～7月号)、2期(8～11月号)、3期(12～3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上をお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

著作権

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

送付先・問い合わせ先

沖縄県医師会 庶務課
〒901-1105 南風原町新川 218-9
TEL：098-888-0087 FAX：098-888-0089
E-mail：kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

平成 29 年 7 月 1 日より

ここ数日、夜間に雷雨が続き、迫力ある稲光や落雷の音に驚いてばかりです。梅雨明けは間もなくでしょう。長期予報では、今年は暑さ厳しい日が多いとされているとか。沖縄の長い夏が到来します。

3度目の緊急事態宣言が出て1か月が過ぎ、新型コロナウイルスの新規患者数は日ごとに減少し、病床のひっ迫も少しずつ改善に向かっています。県は、一時期、重症患者が急増した場合、入院対応が出来ない中等症の患者さんを在宅で治療する体制構築を進めていました。一部マスクミは、この取り組みを安心できる体制が整いつつあると報道し、現場の深刻な倫理的懊悩との距離を感じました。

全国で最悪の発生数を出している沖縄県で、新型コロナウイルスによる死亡者数が他県

に比較し、それほど多くないのは、偏に現場の頑張りと、特に離島住民へのワクチン接種が順調に進んでいることが大きいのでしょうか。本島でもこれから個別、集団、広域集団、職域とハイスピードでワクチン接種が進められます。それぞれの立場で、医療関係者全体で、力の結集が必要な時、沖縄県医療界の底力が見られると期待しています。

6・7月合併号としても報告事項は少なめです。第219回県医師会臨時代議員会報告をご確認をお願いします。座談会では各地区医師会の新型コロナへの取り組みが紹介されています。その他の報告、生涯教育コーナーなどもお目通しください。今回は読みごたえのある随筆を7編掲載出来ました。お楽しみください。



広報委員 白井 和美